

市民アンケート調査【修正版】について

茂原市立小中学校の再編に関するアンケート実施概要（案）

1. 目的 平成 29 年 3 月に策定した茂原市学校再編基本計画の計画期間が令和 7 年度をもって満了することから、次期基本計画を作成するに当たり、市内小中学校の児童生徒数の推移等の状況や、それに伴う課題等を提示した上で、市民の学校再編に対する考えを把握するために実施する。
2. 実施主体 茂原市教育委員会
3. 実施対象者
 - (1) 各小中学校の保護者

・ 小学校の児童	3,425 人
・ 中学校の生徒	1,911 人
	合計 5,336 人
 - (2) 就学前児童の保護者（入所・入園児童）※私立含む

・ 保育所（園）の園児	770 人
・ 幼稚園の園児	269 人
・ 認定こども園の園児	765 人
	合計 1,804 人
 - (3) 上記（2）以外の就学前児童の保護者 698 人
 - (4) 地域住民代表（各自治会長）235 人

合計 8,073 人
4. 実施方法
 - ・ アンケート用紙に二次元コードを表記し、インターネットでの回答も可能とする。
 - ・ 実施対象者（1）（2）は、各施設を通じて、（3）（4）は保護者及び自治会長宛てに配付する。
5. 実施時期 12 月中に実施し、第 3 回審議会までに集計する。

茂原市立小中学校の再編に関するアンケート調査 ご協力をお願い（案）

茂原市教育委員会では、子供たちにとってより良い教育環境を確保するため、平成 29 年 3 月に「茂原市学校再編基本計画」を策定し、学校再編の取組を進めています。

現在の学校再編基本計画は令和 7 年度をもって満了となりますが、今後も少子化等による児童生徒数の減少によって小規模化する学校が見込まれていることから、引き続き、子供たちの将来を考え、学びの質の向上を含めたより良い教育環境を確保していく必要があります。

そこで、市教育委員会では、次期学校再編基本計画の策定に向けて、「茂原市学校再編審議会」を開催し調査審議をしており、その資料とするため、小・中学校の保護者、就学前児童の保護者及び地域住民の方々に対し、アンケートを実施することといたしました。

皆さまにおかれましては、以下に記載した現状を把握していただき、率直な意見を伺いたいと存じますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

令和 6 年 12 月
茂原市教育委員会

1. これまでの学校再編の取組によって得られたもの

茂原市教育委員会では、学校再編に関する基本的な考え方を定めた「茂原市学校再編基本計画」に基づき、具体的な学校再編を進めるため平成 30 年 3 月に「茂原市学校再編第一次実施計画」を、令和 4 年 1 月に「茂原市学校再編第二次実施計画」を策定し、学校再編の取組を進めてきました。

○学校再編の基本方針

- ・適正規模の維持
- ・再編後の教育施設等の充実
- ・通学手段・安全性の確保

○第一次実施計画の内容（計画期間：平成 29 年度～令和 2 年度）

- ・西陵中学校と富士見中学校の統合（令和 2 年 4 月 1 日統合）
- ・二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合（令和 3 年 4 月 1 日統合）

○第二次実施計画の内容（計画期間：令和 3 年度～令和 7 年度）

- ・本納小学校と新治小学校の統合（令和 5 年 4 月 1 日統合）
- ・本納小学校と豊岡小学校の統合
- ・南中学校と早野中学校の統合

これまでの取組により、一定の集団規模を確保することで、クラス替えができるようになったり、部活動の選択肢が増えるなど、新たな人間関係を作り上げる力の育成や多様な意見に触れることができる機会を確保することができました。また、統合後も児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、統合校の校舎やトイレ・エアコン等の施設設備、通学路の整備を行いました。統合により遠距離通学となる児童にはスクールバスを導入し、通学の負担を軽減しました。

なお、本納小学校と本納中学校では、施設一体型の小中一貫教育を実施しています。中学校教員が小学校で専門性を生かした授業をしたり、小学校教員が中学校できめ細やかな指導をする相互乗り入れ授業を効果的に実施するなど、質の高い学習指導が行われています。

2. 小規模校のメリットと課題について

(1) 学級数が少ない(児童生徒数が少ない)学校の主なメリット

- 児童生徒が意見や感想を发表できる機会が多くなる
- 一人一人がリーダーを務める機会が多くなる
- 教職員が児童生徒一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導などのきめ細かな指導が行いやすい
- 運動場や体育館、特別教室などの利用調整が行いやすい

・・・など

(2) 学級数が少ない(児童生徒数が少ない)ことによる主なデメリット

- クラス替えができず、児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい
- 体育科の球技や音楽科の合唱のような集団学習の実施に制約が生じる
- 多様なもの見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しくなる
- ★学級数が少なくなるに従い、配置される教職員数が少なくなる
 - ・児童生徒の良さが多面的に評価されにくくなる可能性がある、多様な価値観に触れさせることが困難となる
 - ・グループ別指導、習熟度別指導等の多様な指導方法をとることが困難となる

・・・など

3. 茂原市の児童生徒数について

令和6年度の小学生は3,425人、中学生は1,911人で、それぞれピーク時の半分以下に減少しており、今後も減少が続くものと見込まれています。

令和6年5月1日時点で茂原市立小中学校の適正規模を満たす学校は、小学校が12校中6校(東部小、萩原小、東郷小、中の島小、豊田小、茂原小)、中学校が6校中4校(茂原中、南中、富士見中、東中)となっています。

茂原市立小中学校の適正規模(平成27年3月策定)

小学校 12学級以上18学級以下(1学年2～3学級)

中学校 9学級以上18学級以下(1学年3～6学級)

※ただし、特別支援学級の学級数は除く。

《茂原市教育委員会が適正規模を定めた理由》

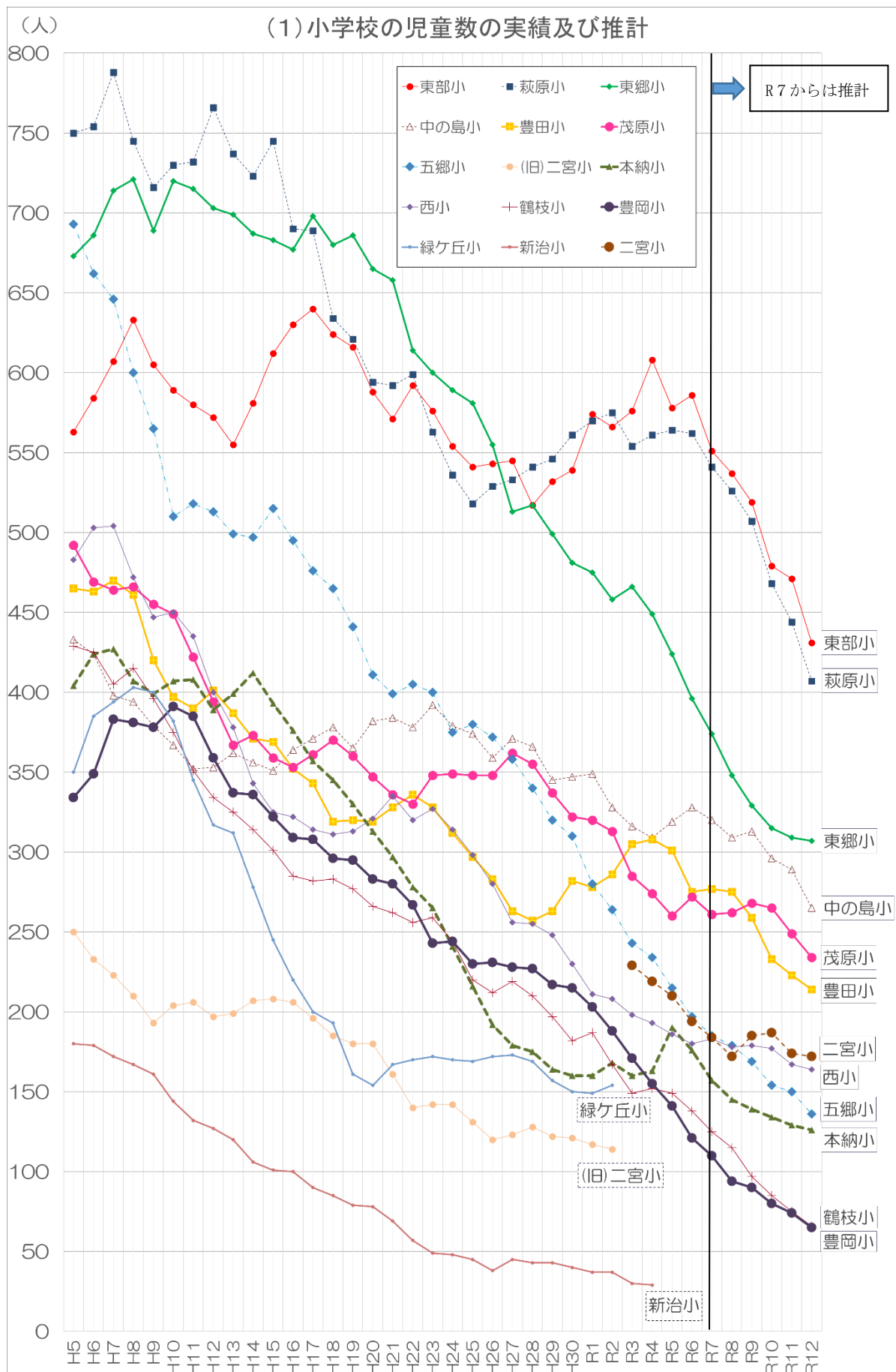
- 小中学校ともすべての学年においてクラス替えを可能とする。
- 学習活動の特質に応じて学級を超えた集団の編成ができる。
- 同学年に複数教員を配置できるようにする。
- 中学校では、教員の免許外指導をなくす。

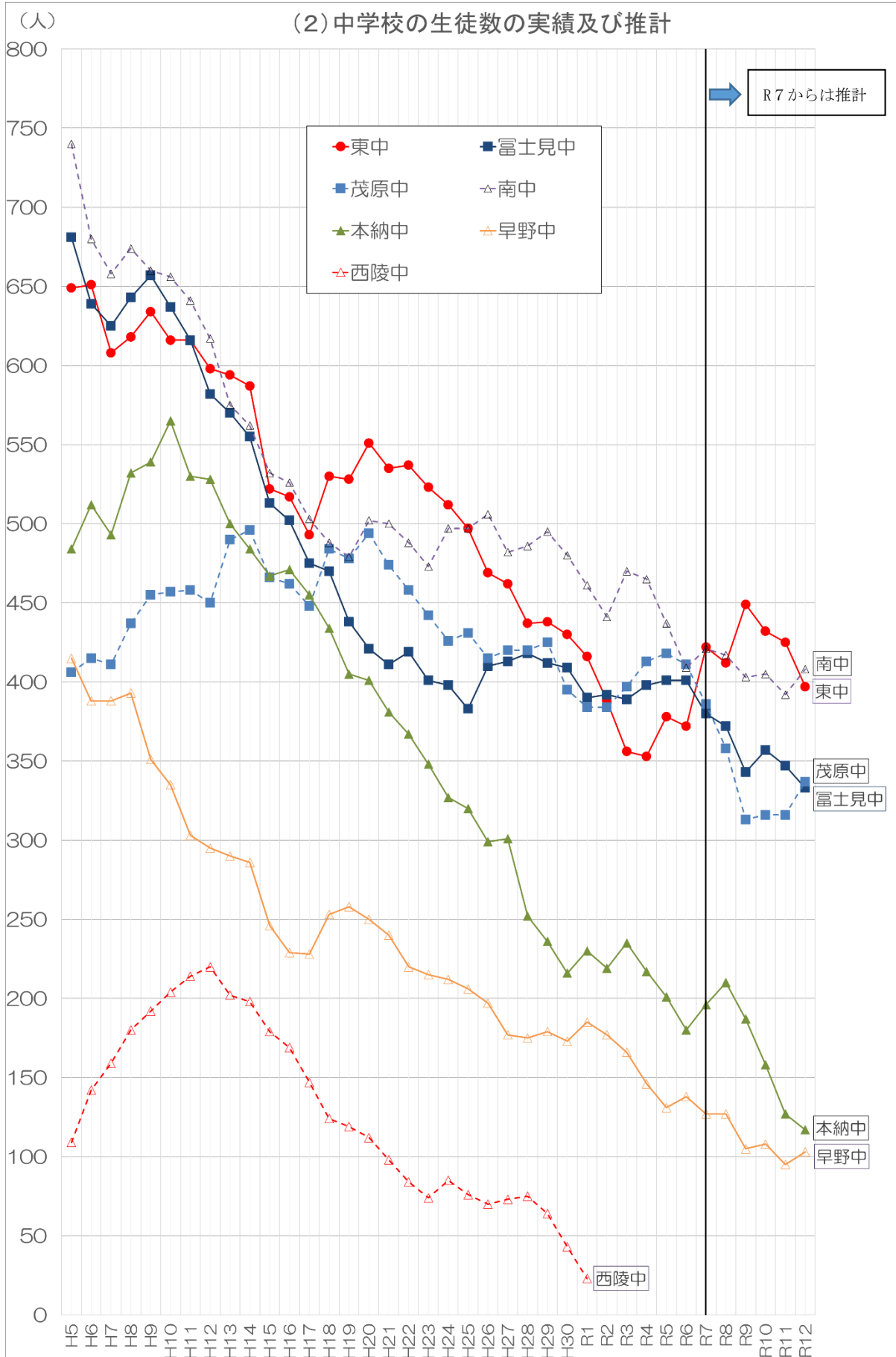
現在、適正規模を満たしていない学校では小規模校のメリットを生かし、デメリットを最小化するよう学校運営を工夫しています。しかし、現代の学校教育では、多様な価値観に触れさせることが重要になってきており、過度な小規模化は様々な課題が顕著になりやすく、望ましいものではありません。そのため、茂原市学校再編審議会では、「適正規模」については「望ましい学校規模」として継承するものの、「学校統合はやむを得ない」と考える規模を新たに設定する必要があるか検討しています。子供たちの将来を考え、より良い教育環境を確保するため、アンケートにご協力ください。



4. 茂原市立小中学校の児童生徒数の実績及び推計について

次の表は、学校ごとの児童生徒数のこれまでの実績と令和12年度までの推計を表したものです。





(案)

茂原市立小中学校の再編に関するアンケート調査

Q 1 あなたについて伺います。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 未就学の子供がいる保護者
2. 小学校に通学している子供がいる保護者
3. 中学校に通学している子供がいる保護者
4. 自治会長

4のみに○をつけた方は、Q3にお進みください。

Q2へ

Q 2 Q 1で1～3に○をつけた方に伺います。あなたの世帯には、中学生以下のお子様が何人いますか。該当するものを1つ選んで○をつけてください。

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. その他 (人)

Q 3 あなたが、お住いの学校区を伺います。該当するものを1つ選んで○をつけてください。

1. 東郷小学校区
2. 豊田小学校区
3. 茂原小学校区 A (中学校は茂原中学校)
4. 茂原小学校区 B (中学校は南中学校)
5. 西小学校区
6. 五郷小学校区
7. 鶴枝小学校区
8. 萩原小学校区 A (中学校は茂原中学校)
9. 萩原小学校区 B (中学校は東中学校)
10. 中の島小学校区
11. 本納小学校区
12. 豊岡小学校区
13. 東部小学校区 A (中学校は東中学校)
14. 東部小学校区 B (中学校は南中学校)
15. 二宮小学校区
16. わからない

Q 4 茂原市では今後、少子化等の影響により、児童生徒数の減少が見込まれており、適正規模を満たさない学校の増加が懸念されています。一定の学校規模を確保するためには、学校同士を統合することも考えられます。

1. クラス替えができない学年が生じたとき
2. 全学年でクラス替えができなくなったとき
3. 全学年が1学級となり、1学級あたり20人程度になったとき
4. 全学年が1学級となり、1学級あたり15人程度になったとき
5. 全学年が1学級となり、1学級あたり10人程度になったとき
6. 複式学級*が生じたとき
7. 児童数が極めて少なくなっても、統合はしない

Q 5 あなたは、中学校において学校統合はやむを得ないと考えるのはどの程度の規模になった時ですか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで○をつけてください。

Q6 あなたは、学校統合を検討することになった場合、配慮してほしい点は何ですか。
あなたの考えにあてはまるもの上位3つ以内に○をつけてください。

⇒裏面に続く。

Q 7 茂原市では、子供たちへより質の高い教育を提供することができるよう、中学校区ごとに小学校と中学校が互いに協力して、9年間の連続性を大切にし、目指す子供像を共有する小中一貫教育に取り組んでいます。

あなたは、小学校と中学校の9年間において、どのような教育に重点をおき、教育活動の充実に取り組んでほしいと考えますか。あてはまるもの上位3つ以内に○をつけてください。

1. コミュニケーション能力や対人関係能力を育む教育
2. 自ら調べ、自ら学ぶ、問題解決力を育む教育
3. 公共心や思いやり、豊かな心を育む教育
4. 国や郷土等の伝統や文化を学び、ふるさとを愛する教育
5. 自然や環境と社会の在り方を学ぶ環境教育
6. 体力づくりや健康な心身を育む教育
7. 豊かな情操や感性を育む芸術教育
8. 自己の生き方や職業の理解を深めるキャリア教育
9. タブレットパソコンなどの活用や情報活用能力を育む教育
10. 外国語の習得や国際理解を深める教育
11. その他 ()

Q 8 その他、学校再編に関する意見があればご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。